

2018年1月29日
ソフトバンク株式会社
株式会社 Cogent Labs

ソフトバンクとコージェントラボが RPA×AI 分野で業務提携

～RPA と、AI を活用した OCR の連携ソリューションを開発～

ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）と株式会社 Cogent Labs（本社：東京都渋谷区、代表取締役：飯沼 純、エリック・ホワイトウェイ、以下「コージェントラボ」）は、2018年1月29日に、RPA（Robotic Process Automation）分野における業務提携契約を締結しましたので、お知らせします。今後両社は、RPA と、AI（人工知能）を活用した手書き文字認識（OCR）技術「Tegaki」を組み合わせたソリューションを共同開発し、提供することを目指していきます。

ソフトバンクは、国内 RPA 分野のリーディングカンパニーである RPA ホールディングス株式会社と協業し、RPA ソリューション「SynchRoid（シンクロイド）」を提供しています。RPA は、企業における定型の事務作業を自動的に処理できる強みがあるため、膨大な書類処理業務の効率化に高いニーズがあります。しかし書類の中には、顧客の契約申込書やアンケート回答、問診票、診断書、テスト答案などのように、手書きの文書も多いため、RPA による業務自動化に当たっては、まず手書きの文字をデジタルデータ化する必要があります。コージェントラボは、AI 技術でデータを処理、学習することにより、これらの手書き文字を高精度で自動認識し、スピーディーにデータ化する技術を持っています。同社の技術を活用した手書き文字の認識率は 99.22%に達しており、既存技術では認識することが難しい手書き文字も自動的にデータ化できます。

今後両社は、ソフトバンクの「SynchRoid」に、コージェントラボの高精度な OCR 技術「Tegaki」を組み合わせたソリューションを共同開発します。これにより膨大な書類のデータ入力や集計、加工などの作業を、よりスピーディーに自動化することが可能になります。

両社は、製造や販売、金融、医療、サービス、教育など、さまざまな業界において業務を効率化し、お客さまの働き方改革に貢献することを目指していきます。

<ご参考>

ビジネスの未来を発信する WEB マガジン「Future Stride」(Powered by SoftBank)

「RPA と AI の融合が描く「働き方」の未来像」 (https://tm.softbank.jp/future_stride/topics/20180117/)

ソフトバンクについて

ソフトバンクは、インターネット企業グループであるソフトバンクグループで、移動通信サービス、固定通信サービス、インターネット接続サービスを提供しています。グループ企業とのシナジーを発揮し、IT を通じて人々のライフスタイルを革新することを目指して事業を展開するとともに、IoT やロボット、エネルギーなどの分野でも事業を拡大しています。詳細はウェブサイトをご参照ください。 <https://www.softbank.jp/corp/group/sbm/>

Cogent Labs について

コージェントラボは、人工知能を活用して人々の働き方や生活の未来を形作ることに取り組み、実生活の課題を解決する、使いやすく直感的なソリューションを提供します。時系列データを活用した予測、情報抽出、自然言語と音声処理、強化学習など、多分野にまたがる専門性を活用することで、最新の研究内容を実ビジネスに応用します。詳細はウェブサイトをご参照ください。 <https://www.cogent.co.jp/>

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。